

## 学校建設候補地の比較について

		現まなづる小学校	現真鶴中学校(含:町立体育館)
所在地		真鶴町真鶴 543 他	真鶴町真鶴 1855 他
校舎建築年月		昭和 49 年 10 月	昭和55年8月
敷地面積		約 13,700 m <sup>2</sup>	約 19,300 m <sup>2</sup> (18,282.16 m <sup>2</sup> +テニスコート1,017 m <sup>2</sup> )
用途地域		第 1 種中高層住居専用地域	第 1 種中高層住居専用地域
土地利用規制基準による高さ制限		12m (現状と同じ 4 階建て可)	10m (現状と同じ3階建て可)
安全・安心	通学	<ul style="list-style-type: none"> <li>山側の児童生徒が国道、跨線橋、県道を渡る。</li> <li>岩地区を中心にスクールバス、コミュニティバスが必要となる。</li> <li>見守り等、安全対策が必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半島側の児童生徒が国道、跨線橋、県道を渡る。</li> <li>みさき地区を中心にスクールバス、コミュニティバスが必要となる。</li> <li>見守り等、安全対策が必要となる。</li> </ul>
	防災関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域の指定はない。</li> <li>津波浸水区域外となる。</li> <li>現在も避難所になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域の指定はない。</li> <li>津波浸水区域外となる。</li> <li>現在も避難所になっている。</li> </ul>
	交通状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防分署前の交通量が多い。</li> <li>周辺は一車線道路であり、道路の拡張は難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道は交通量が多く、ダンプが頻繁に通る。(信号機の設置等の対策が必要となる。)</li> </ul>
環境	位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の中央部に位置し、高台にある。</li> <li>町役場、町民センター等に近い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>真鶴駅、石田保育園に近い。</li> <li>湯河原町との境界に近い。</li> </ul>
	景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内が一望(海、お林など)できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上から伊豆半島が見える。</li> <li>山を背に駅ホームが見える。</li> </ul>
	自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵まれている。静か。日当たりも良い。</li> <li>水はけが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵まれている。静か。日当たりも良い。</li> <li>水はけが良い。</li> </ul>
	コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>真鶴線、岩線[右回り、左回り](消防分署前)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩線[右回り、左回り](体育館駐車場入口)</li> <li>湯河原町コミュニティバス[うさぎ沢線](真鶴中学校)</li> </ul>
	近隣の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地である。</li> <li>道路と敷地に高低差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地であり、新しい住宅も多い。</li> <li>校門前は朝夕、駅利用者の送迎が多い。</li> </ul>
施設・設備	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な確保が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校と比べ比較的確保しやすい。</li> </ul>
	体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の体育館を改修する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町立体育館を活用できる。</li> </ul>
	プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水利用のプール設備がある。(維持管理にかなりのコストがかかる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ない。新たな建設は非効率であり、他の施設等を利用することになる。</li> </ul>
	給食設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮校舎となった場合、中学生への給食の提供も可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮校舎となった場合、小学生も弁当持参となる。</li> </ul>
	水道(口径)	<ul style="list-style-type: none"> <li>100mm</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>40mm</li> </ul>
	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>テニスコート、ナイター設備がある。</li> </ul>
その他	地域・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の中央部に位置し、地域住民は割と集まりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電車通勤・通学をしている地域住民にとっては立ち寄りやすい。</li> </ul>
	学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設に近く、徒歩での校外学習が行いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の港方面の校外学習ではスクールバスも必要になる。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度、城北・城口・丸山方面の児童が多い。</li> <li>建設中の騒音トラブルが心配される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度、城北・山ゆり地区の生徒数は全体の約半数を占めている。</li> <li>建設中の騒音トラブルが心配される。</li> </ul>

## 跡地の活用

安全・安心	通学 防災関係 交通状況(周辺道路)
環境	位置(集まりやすさ・人の流れ・利便性) 景観 自然 コミュニティバス 近隣の状況
施設・設備	プールの必要性 体育館 水道(口径) 駐車場
その他	地域・交流(公共施設・資源) 学習活動